

ホワイトボードについて

「なぜホワイトボードが廊下に設置されたんだろう？」と思った人も多いと思います。そこには、次のような思いがあります。それは

「どこでも学びを」

です。例えば、廊下で先生を見かけて質問するとします。そのとき書きながら説明してもらえると、分かりやすくなると思いませんか。文字にすると内容が明確になり、理解しやすくなります。また、例えば YSP の時間に研究テーマや研究の進め方について考えるとき、ホワイトボードの前に集まって書きながらアイデアを出し合うと、議論が深まります。勉強だけではありません。何かを考えたり、決めたりするときに、目に見える形にすることは大変効果のある方法なのです。一見アナログな方法に見えますが、一流の企業や研究機関でも行われています。という訳で、

思いついたときにアイデアを形にできる、 残せる、シェアできる、明確化できる！

そのような環境を作りたい！鹿本高校は SSH 校です。みんなでアカデミックな雰囲気創れたらいいなと思っています。是非活用してください。下記に動画を準備しました。使い方のイメージがつかめると思いますので、参考にしてください。これ以外にもホワイトボードの使い方や意義を説明している動画はたくさんあるので、探してみてください。

(1) ホワイトボードの使い方の説明動画です。

<https://youtu.be/tTWuNq4lpaA?t=55>

時間は1分ほどで、ホワイトボードを使ってミーティングを行う意義や方法などについてシンプルに、分かりやすく説明されています。※この通りにしなくてもいいです。



(2) Kavli 数物宇宙研究所の説明動画の一部 (12:18-12:50)

<https://youtu.be/LHfwevReVWk?t=738>

東京大学の宇宙研究所である Kavli IPMU (カブリ数物連携宇宙研究機構) の説明動画です。12分18秒あたりから30秒ほどの説明部分で、ホワイトボードを使って議論している場面があります。このような使い方をしてくれるとうれしいです。



使い方の例

- 勉強でわからないことがあるときに、書きながら質問をしたり、書いてもらいながら説明してもらったりする。
- 話し合いたい時に、自分の考えのイメージを書きながら説明する。出てきた意見を書いて、議論の方向性を明確にする。
- 教養を高める社会科学や自然科学に関する記事やポスター等を掲示する。
- 学年・教科の先生からの連絡を掲示する。
- SSH 関係の外部発表会やコンテスト募集等を掲示する。

ルール

- 落書きしない。
- 傷をつけない（叩く、突く、硬いものをぶつける等）。
- 汚さない（油性マジック等落ちないもので書く、シールを貼る等）。
- 原則書いた人が消す（残したい場合はクロムブックで写真を撮る）。※定期的に見回り必要ないものは消します。
- その他常識のある使い方をすること。

※このホワイトボードは、卒業生からの寄付で設置されました。鹿本高校の財産として、これから君たちが、そして未来の鹿本高校生たちが使う大切なものです。丁寧にかつ積極的に利用しましょう。